

『群馬埋蔵文化財調査センター』  
 公共開発事業に伴う埋蔵文化財の調査と研究を行う公益財団。  
 埋蔵文化財調査センターで発掘された文化財の情報発信を  
 行っている。  
 2012年11月に金井東裏遺跡で見つかった『甲を着た古墳人』の  
 レプリカも展示されている。  
 また、ハツ場ダム建設に伴う発掘調査の状況の展示もある。  
 土曜日、祝日が休館。開館時間は9:00～17:00。

『大胡城址』  
 藤原秀郷の子孫であり中世上野の名族であった大胡氏により  
 築城され、徳川家康の関東入部により牧野氏が大胡領2万石に  
 封ぜられた。その後、牧野氏が長岡へと転封された後、大胡城は  
 前橋藩領となり、酒井氏時代には城代が置かれた。  
 酒井氏が姫路へ転封された際、廃城となった。  
 本丸を二の丸が囲んでいる他には、基本的に南北に郭をならべた  
 直線連郭式の平山城である。

『山上(やまがみ)多重塔』  
 平安時代初期の延暦20年(801年)7月17日に僧・道輪に  
 よって建てられた供養塔で、国の重要文化財。  
 塔には安楽と平和を願う45の文字が刻まれ、当時の仏教  
 文化を知る上で大変貴重な遺産となっている。  
 塔は赤城山麓に立っており、北には長い裾野を広げた  
 雄大な赤城山が望める。  
 その分、赤城おろしも正面から受ける。試走時も寒かった。

『宝塔山古墳』  
 一辺の長さ約55m、墳丘高11mの規模を誇る方墳。  
 方墳としては全国的に見ても大きい規模を誇る。  
 ここは、石室が公開されており、家形石棺がある  
 玄室まで入って行け、見事な石積みを見る事ができる。

『山上(やまがみ)城址』  
 鎌倉時代に藤原秀郷の子孫、山上五郎高綱によって築城され、  
 戦国時代末期に武田勝頼に攻められたのち廃城となった。  
 城の構造は北から南へ笹郭・北郭・本丸・二の丸・三の丸・南郭と  
 一直線に並んだ並郭式で、川や谷などの自然を要害とした丘城。  
 三の丸には遊具がある広い広場になっており、子供の遊び場にな  
 っている。

『八幡塚古墳』  
 国指定史跡保渡田古墳群(二子山古墳・八幡塚古墳  
 ・薬師塚古墳)の1つ。  
 墳丘の全長は96mで、周堀まで復元されている。  
 墳丘の斜面には葺石が葺かれ、内堀に4つの中島が  
 あるのがこの古墳の特徴。  
 また、埴輪の数も約6000と推測されている。  
 後円部にある石室は展示室化され、墳丘の上から  
 階段で入る様になっていて、舟形石棺のレプリカが  
 置かれている。  
 ちなみに、復元工事を請け負ったのは衆議院議員  
 ・佐田玄一郎の佐田建設である。

『膳城址』  
 このあたりを治めていた膳氏によってつくられ、室町時代から  
 戦国時代にかけて使われた城。  
 山上城と違い、本丸の周りをいくつかの郭が囲んでいる。  
 北郭に粕川村出土文化財管理センターが立ち、その北側に  
 新しく膳城址公園が整備され、子供の遊具の他、大人(老人?)  
 向けのストレッチ器具が設置されている。  
 滑り台に膳城が復元(?)されている。  
 試走時は、子供しかいなかった。老人は朝早くに居るのかな?

『女洲城址』  
 戦国時代に赤城山麓にあった城の一つで、  
 要害に広く水濠を用いた平城だが、上州では珍しい  
 「水城」に近い形態。  
 その水濠をうまく使い、今はおなぶち城址公園と  
 なっている。

『大室公園』  
 何度もチェックポイントを置いた古墳公園。  
 2CPの観音山古墳やゴールの八幡山古墳の  
 様に古墳としての整備は余りされておらず、  
 前二子古墳、中二子古墳、後二子古墳の  
 3つの大型前方後円墳の他、多くの古墳が  
 当時の様子に復元されて公園の中に点在している。  
 復元されたM-1号古墳は子供のそり遊び場にな  
 り、表面が大変なことになっている。

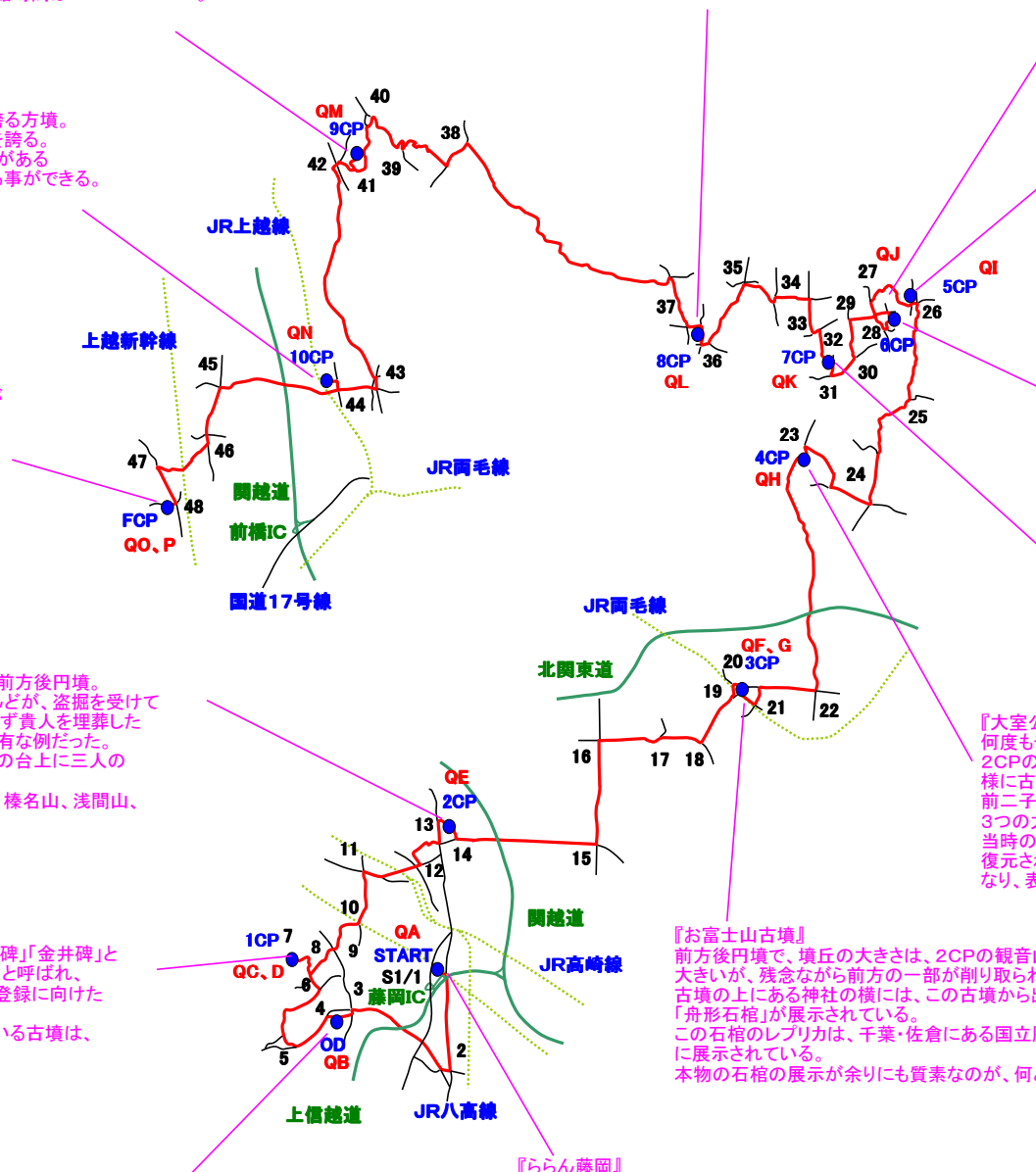
『観音山古墳』  
 墳丘97mで、二重の堀をめぐらした前方後円墳。  
 群馬県内の有力前方後円墳のほとんどが、盗掘を受けて  
 いるが、観音山古墳は、全く盗掘されず貴人を埋葬した  
 当時の姿をそのままに保っていた稀有な例だった。  
 発掘された人物埴輪の中には、一個の台の上に三人の  
 巫女が並んで座る珍しいものもある。  
 古墳の上からの眺めが良く、赤城山、榛名山、浅間山、  
 妙義山を望むことができる。

『お富士山古墳』  
 前方後円墳で、墳丘の大きさは、2CPの観音山古墳より  
 大きいが、残念ながら前方の一部が削り取られている。  
 古墳の上にある神社の横には、この古墳から出てきた  
 「舟形石棺」が展示されている。  
 この石棺のレプリカは、千葉・佐倉にある国立歴史民俗博物館  
 に展示されている。  
 本物の石棺の展示が余りにも質素なのが、何とも言えない……。

『山上(やまのうえ)古墳』  
 古墳に隣接してある「山上碑」「多胡碑」「金井碑」と  
 合わせて「上野三碑(こうずけさんび)」と呼ばれ、  
 2017年のユネスコの「世界記憶遺産」登録に向けた  
 国内候補になっている。  
 東日本で国の特別史跡に登録されている古墳は、  
 山上古墳だけである。

『ららん藤岡』  
 上信越道・藤岡ICに隣接するハイウェイオアシス。  
 上信越道からもアクセスできる。道の駅でもある。  
 農産物直売所、レストランがある「アグリプラザ」、  
 群馬が生んだ銘菓(?)「グーテ・デ・ロフ」のガトーフェスタ  
 ハラダなどの売店がある「グルメプラザ」、小さな  
 遊園地「メルヘンプラザ」や「花の交流館」がある。

『七輿山古墳』  
 以前は古墳があるだけだったが、「七輿の門」という  
 施設ができ、周辺の遺跡の資料が展示してある。  
 すぐ近くにレトロ自販機がある「七輿ドライブイン」もある。



**第64回D-Wind Rally Course Layout**

小さな黒数字はコマ図番号です。  
 ※クイズの位置はおよその位置です。